

第6回「原子力に関する倫理研究会」開催ご案内

(社)日本原子力学会 倫理委員会

日時：2006年7月25日(水) 13時30分～17時00分(受付：13時10分から)

場所：東京大学 生産技術研究所 An棟301号室

(〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1)

会費：一般；6000円 / 学生；無料

{会費には事例集(予定販価800円)、事後の研究会報告書(予定販価1500円)を含みます}

<今回のテーマ> 技術倫理をよりよく理解していただくための、事例を用いたケーススタディ

<趣旨>

学会倫理規程前文には「原子力による人類の福祉と社会の持続的発展」などが示されています。近年、組織の社会的責任を果たすために、倫理が必要不可欠であるとの認識が高まり、学会賛助会員の8割近く(2004年11月現在)が倫理規程(行動規範など名称の異なるものを含む)を有しております。しかし、倫理は必要であるとの認識にもかかわらず、「日本原子力学会のいう技術倫理とは何か」という理解が充分であるとは言い難い状況にあります。学会の倫理規程と組織の論理とは、相反するという誤解も散見されます。

こうした問題意識のもとに、第2回倫理研究会(2004年7月東京開催)および第4回倫理研究会(2005年7月美浜開催)で事例を用いた研究会を開催し、技術倫理への理解を深めていただきました。最近、倫理委員会では、学会倫理規程に即した事例集を作成し、ホームページ上などで公開しております。第6回目となる原子力に関する倫理研究会では、この学会倫理規程に即した事例集を用いたケーススタディを実施し、学会倫理規程へのご理解を深めていただきたいと思います。

第6回原子力に関する倫理研究会の前半では、委員長挨拶、学会倫理規程の紹介を行います。後半は、倫理委員会作成の最新の事例集に基づいて、事例のケーススタディを参加者全員(数グループに分かれる)で行なっていただき、倫理に対する理解を深めていただきます。最後に「学会倫理規程と組織の倫理(仮題)」に関する参加者の皆さまとの対話を行い、副委員長の挨拶で締めくくります。

皆様、奮ってご参加頂きますようお願い致します。

ご参加いただいた皆さまに、倫理委員会が開催する今後の研究会などのご案内をe-mailで差し上げたいと思います。案内不要の方は、参加申し込み用紙の該当部分に○をお付け下さい。

<プログラム> 事情により内容を変更する場合があります。ご了承下さい。

[敬称略]

	司会	(倫理委員・福井工業大学)	中安 文男
13:30-13:35	開会		研究会事務局
13:35-13:45	委員長挨拶	(倫理委員会委員長・東北大学名誉教授)	北村 正晴
13:45-14:15	日本原子力学会倫理規程について	(倫理委員会幹事・東京大学)	班目 春樹
14:15-	事例検討：方法の説明	(倫理委員・原子力安全システム研究所)	作田 博
	事例検討(数グループに分かれていただきます)		参加者全員
-16:05	まとめ	(倫理委員・原子力安全システム研究所)	作田 博
(10分)	休憩		
16:15-17:15	参加者全員によるディスカッション：学会倫理規程と組織の倫理(仮題)		
	モデレータ	(倫理委員会委員長・東北大学名誉教授)	北村 正晴
	パネラー	(倫理委員会幹事・東京大学)	班目 春樹
	パネラー	(倫理委員・(株)日立製作所)	小沢 通裕
	パネラー	(倫理委員・原子力安全システム研究所)	作田 博
	パネラー	(倫理委員・(株)エネテック総研)	三好 義洋
17:15-17:25	副委員長挨拶	(倫理委員会副委員長・金沢工業大学)	大場 恭子
17:25-17:30	閉会		研究会事務局